

大学院・生活環境学研究科・生活環境学専攻・博士課程 2024年度入学生カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
1. 知識・理解	1-1	生活文化情報学に関わる事象に対して、独立した研究者として能力が発揮できるような、文化的・社会的な観点からの極めて高度な専門的知識を有している。	生活環境学特殊演習				
	1-2	生活文化情報学に関わる事象に対して、独立した研究者として能力が発揮できるような、科学的・工学的な観点からの極めて高度な専門知識を有している。					
	1-3	生活環境学に関わる事象に対して、独立した研究者として能力が発揮できるような、文化的・社会的な観点からの極めて高度な専門的知識を有している。					
	1-4	生活環境学に関わる事象に対して、独立した研究者として能力が発揮できるような、科学的・工学的な観点からの極めて高度な専門知識を有している。					
2. 技能・表現	2-1	生活文化情報学に関わる事象を研究者の視点から論理的に分析し、問題の解決につなげ、成果を発表することができる極めて高度な技能を有している。	↓				
	2-2	生活環境学に関わる事象を研究者の視点から論理的に分析し、問題の解決につなげ、成果を発表することができる極めて高度な技能を有している。		後期課程研究Ⅰ	→ 後期課程研究Ⅱ	→ 後期課程研究Ⅲ	→ 後期課程研究Ⅳ
3. 思考・判断	3-1	生活文化情報学に関する新たな課題に対し、研究者の視点から論理的に考え、問題を解決する極めて高度な思考や判断の能力を身につけている。					
	3-2	生活環境学に関する新たな課題に対し、研究者の視点から論理的に考え、問題を解決する極めて高度な思考や判断の能力を身につけている。					
4. 態度・志向性	4-1	社会性を有し、他者と協調・協働して社会の発展に貢献する研究者としてふさわしい深い態度を身につけている。					
	4-2	生涯にわたり、自立して研究し、学び続けるための意欲と向上心を身につけている。					